

水泳（25メートル背泳ぎ）で優勝した柴原一雄さんと、健康マージャン個人戦でブロック優勝した江口豊治さんに、大会に参加した感想や今後の抱負についてお話を伺いました。

みんなの「絆」がもたらした優勝！

江口 豊治

「ねんりんピック宮城・仙台2012」健康マージャン大会に本県代表として選出されてからは、宮城県選手団の結団式において宮城県知事から、また多賀城市長からも「昨年の震災の際は物心両面にわたるご支援をいただきました。復旧、復興の歩みを全国に発信し、ご支援をいただいた多くの皆様方に感謝の気持ちをお伝えする大会です」との“激励のメッセージ”をいただき、身が引き締まると同時に、大会がもう間近に迫っていることが感じられました。

13日の開会式、入場行進は、晴天に恵まれ、全国の60歳以上の選手が若々しい足取りで、元気一杯に行進する様子には大変感動しました。

14日・15日は、団体戦、個人戦が行われ、試合開始前に「宮城県の江口です。昨年のご支援ありがとうございました。よろしくお願いします」と挨拶しますと他県の選手からは「東日本大震災にあって大変でしたね」とお見舞い、温かい励ましの言葉をいただき、全国の皆様との友好的「絆」を改めて確認しました。

個人戦での優勝は、仲間との「絆」から生まれました。それまでの間、大会出場を助めてくれた小生のホームグラウンドである「藤ホール」支配人、10月に病死した友人の支え、週2回の練習に付き合ってくれた職場の現・元同僚、多賀城市新田中区「脳活促進麻雀研究会」の皆様には、大変感謝しております。

これからは、健康マージャンの素晴らしさをシニアだけではなく若い人への普及に努めたいと思います。



個人戦優勝の江口豊治さん（右から2番目）

美術展部門



厚生労働大臣賞受賞
洋画「晩夏」/
斉藤文子さん

他県からの応援に感謝

柴原 一雄



優勝の柴原一雄さん（中央）

60～64歳、男子25メートル背泳ぎで金。同50メートルで銀という結果でした。後で聞いた

のですが、水泳の宮城県代表として初の金、今回の大会でも仙台市を含めた県勢で金は私の一個ということで驚きました。

振り返ってみれば、大会の主旨が、生きがいや健康づくりとはいうものの、つつい真剣にレースに臨んでしまうのが人情というもので、かなり真剣に泳ぎました。日常の練習とは別に4回ほど代表選手が一堂に会する練習会があり、確かに役に立ったと思っています。

短距離はキックだということでゴール直前は特にキックに力を入れ、これが功を奏したと思います。

表彰式は大変立派で、改めて優勝の喜びがこみ上げてきました。

50メートルで優勝した長崎県の選手と互いの労をねぎらっていたとき、彼が自分のTシャツにプリントされた文字を見せてくれました。そこには、さりげなく「がんばれ宮城県！！」とありました。

他県の選手の心配りに胸が熱くなりました。

スポーツ交流大会



サッカー優勝の石巻フェニックスSC

なぎなた優秀賞の宮城県Bチームと個人戦優勝の鈴木照子さん（中央）



ゴルフ団体優勝の宮城1チームと個人優勝の高原重輝さん（左）



第25回全国健康福祉祭
宮城・仙台大会
「ねんりんピック宮城・仙台2012」レポート

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上のシニア世代を中心とする、スポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典で、健康で質の高い生活を送るためのきっかけづくりや、世代や地域を超えた交流を深めることを目的に、昭和63年の第1回兵庫県大会以来、毎年、都道府県持ち回りで開催されています。

今年は、第25回という節目を迎え「伊達の地に 美れ！ねんりん いきいきと」をテーマに宮城県内の7市6町を舞台に10月13日から16日まで4日間の日程で開催されました。



▲総開会式

総合開会式
総合開会式は10月13日に、仙台市陸上競技場に常陸宮ご夫妻をお迎えして開催されました。
北海道を先頭に47都道府県・20政令指定都市から一万人近い選手が入場行進。宮城県選手団（団長・三浦俊一宮城県社会福祉協議会会長）は、最後列で行進し、大久保宏旗手（卓球・宮城県Aチーム）を先頭に、役員・選手総勢366人が横断幕やミニのぼりを持ち、震災後の元気な姿をアピールしながら、感謝の気持ちを伝え、ホスト県としての役割を果たしました。
大会会長の村井嘉浩宮城県知事ら主催者の挨拶や常陸宮さまのお言葉の後、宮城県選手団からは島田義一郎選手（弓道・宮城県Cチーム）・仙台市選手団・ボランティア・伊達キッズの各代表が「宮城・仙台宣言」を力強く宣言しました。

ねんりんピック宮城・仙台2012 入賞結果

種目	チーム・個人名	入賞項目	種目	チーム・個人名	入賞項目
卓球	宮城県A	準優勝	水泳	柴原 一雄	優勝
	宮城県D	優秀賞		木村 則之	準優勝
テニス	庄司 勝子	最高齢者賞	長嶋 勝男	第3位	
	武田 義子	高齢者賞	青木 洋一	準優勝	
ソフトテニス	宮城県(1)	優勝	小田部 勝	第3位	
	東松島市	第5位	清原 正司	準優勝	
ゴルフ	MAY	第9位	大越 博子	準優勝	
	高原 重輝	優勝	宮城県A	準優勝	
弓道	加藤 寛壽	第5位	武田 正秀	準優勝	
	赤間 力	第9位	武田 美和子	準優勝	
グラウンド・ゴルフ	目黒 きん子	第8位	宮城県B	第6位	
	末永 イネ子	最高齢者賞	阿部 績	第16位	
ダンススポーツ	井上 八郎	高齢者賞	宮川 正	第6位	
	小室 ミサ	高齢者賞	橋本 美知子	第7位	
囲碁	宮城県A	優勝	山口 昌幸	準優勝	
	宮城県B	優秀賞	白石 善彦	第3位	
将棋	宮城県A	第3位	江口 豊治	優勝	
	宮城県B	優秀賞	高橋 十九男	優秀賞	
健康マージャン	宮城県C	優秀賞	杉本 仁	最高齢者賞	
	鈴木 照子	優勝	○日本画の部		
なぎなた	藤原 良子	準優勝	仙台市長賞「さあ お家に帰ろう」/相原 幹男		
	伊藤 悦子	優秀賞	○洋画の部		
美術展	石崎 祥子	優秀賞	厚生労働大臣賞「晩夏」/斉藤 文子		
	長倉 みどり	優秀賞	銅賞「ジャングルジム」/菅原 弘		
サッカー	長竹 寿美世	優秀賞	○工芸の部		
	宇和野 二三枝	高齢者賞	金賞「梨子地研出三段丸重」/只野 幸男		
	石巻フェニックスSC	優勝	○書の部		
	宮城フェニックスSC	第3位	宮城県知事賞「村居雑詩 其二」/釜村 源子		
			銀賞「大野林火の句」/阿部 成子		
			銅賞「趙翫詩」/太田 稜雪		
			○写真の部		
			仙台市長賞「激走」/佐藤 徳文		

(敬称省略)

スポーツ交流大会
14日、15日は宮城県内各地でスポーツ交流大会が開催され、18種目の競技で熱戦が繰り広げられました。
宮城県チームは、地元開催の強みもあり、ゴルフ（団体・個人）、なぎなた・水泳・健康マージャン（各個人）、サッカーの競技で優勝を果たしたほか、複数の種目で上位入賞するなど大健闘を見せました。
美術展部門では、5部門（洋画・日本画・書・写真・工芸）に20作品を出展し、厚生労働大臣賞などに8作品が入賞しました。